

は　じ　め　に

名古屋市では、人口に占める 65 歳以上の高齢者の割合が 25%を超え、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年には、高齢化率は 25.7%に達すると推計されております。また、団塊ジュニア世代が 65 歳以上となる 2040 年には総人口・現役世代人口が減少する中で介護ニーズの高い 85 歳以上の高齢者数も急速に増加することが見込まれており、人口減少及び少子化・高齢化にともなう人口構造の変化への対応が求められております。

そうした状況の中、2040 年を見据え、「支える側」「支えられる側」といった従来の関係を越えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる「地域共生社会」の実現が強く求められており、その実現に向けて、「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図り、各種の施策に積極的に取り組み、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らすことができるよう支援していくことが重要であると考えています。

人口減少及び少子化・高齢化にともなう人口構造の変化のもとでは、社会の支え手の負担の増加が懸念されており、介護や支援が必要な方々に安定した介護サービス等を提供することができるよう、介護人材の確保や働きやすい介護現場の実現に取り組むこと等が必要となります。また、元気な高齢者の方々には、活力ある高齢社会の源として、就業や地域活動をはじめとしたさまざまな社会活動に積極的に参加していただき、社会における重要な担い手として、生きがいを持って活躍していただくことが期待されます。

この第9期名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を着実に実施することにより、「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図り、「地域共生社会」の実現に向けて、『互いに長寿を歓び合い、はつらつとして暮らせるまち、なごや』を目指してまいりたいと考えています。市民の皆様には、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、本計画の策定にあたりましては、名古屋市高齢者施策推進協議会及びその部会の皆様から貴重なご意見をいただきました。また、各種実態調査やパブリックコメントなどを通じて、多くの市民の皆様からもご意見、ご協力をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。

令和6年3月

名古屋市長　河村　たかし